

令和7年度 今治西部丘陵公園 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治西部丘陵公園（しまなみアースランド）
所在地	愛媛県今治市高地町2丁目乙429-1
指定管理者	名 称 株式会社今治・夢スポーツ 代表者 岡田武史 住 所 愛媛県今治市高橋ふれあいの丘1-3 今治里山スタジアム
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	建設部 維持管理課 TEL：0898-36-1561 E-mail：ijikanri@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の目的を基準に、大事にしていこうことをまとめ、都度スタッフで振り返るようにすることで、より良い施設管理につながっている。	B	施設の目的を基準として重視すべき事項を整理し、スタッフ間で継続的に振り返りを行うことで、適切な施設管理につながられている。 今後は施設の目的に即した環境教育プログラムなどの自主事業についても、より積極的に取り組み、その充実を図ることで、施設の価値向上につなげていきたい。
利用状況	B	市内外への告知に注力することで、SNSのフォロワーやイベント参加者が増えるなど、利用増に効果が見られた半面、遊具の故障が影響した。学習棟利用については冷暖房が設置されていないため、利用時期に偏りはあるが件数は約30%伸びており、実施している公園の周知方法が効果的であるとともに、利用需要があることが分かった。	B	今年度は入園者数が前年度比で減少したものの、計画に対しては概ね達成しており、特に自主事業イベントや学習棟利用、環境教育プログラムにおいて高い成果が認められる。自主事業イベントについては前年度比で大幅に増加し、達成率も200%を超えており、事業企画力や集客施策の成果が表れている。また、環境教育関連についても安定的に計画を上回っており、施設の拠点機能が維持されていると認められる。 一方で、公園利用者数は前年度比・達成率ともに大きく低下しており、日常利用の減少が懸念される。入園者全体の減少と合わせて、一般利用者の取り込みに課題があり、今後の強化した取組に期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事業収支	A	弊社アドミニストレーショングループとの連携により、より正確な収支進捗等の作成につながった。適切に管理することで、立案した収支計画で運転することができている。	B	会社と指定管理業務は独立した会計処理により予算は適切に執行されている。 一方で、支出面において、植栽管理及び草刈りに関して予算額と決算額の乖離が見受けられた。今後は、これら業務の計画的な実施と適切な執行管理に取り組み、予算との整合性をより意識した運営となるよう努めていただきたい。
管理運営体制	A	適切な管理運営体制のため、弊社人事グループのもと採用や研修を進めており、経験者採用に至った。研修ではハラスメントやユニバーサルマナーなど、公園運営に欠かせない情報を得た。	B	適切な管理運営体制の構築に向け、人事グループを中心に採用・研修を実施し、経験者採用に至った点、また、研修において公園運営に必要な知識の習得に取り組んでいる点が評価できる。 一方で、これらの取組により管理体制がどの程度強化されたかの効果の検証が十分とは言えない。加えて、研修の成果を常勤職員だけでなく非常勤職員も含めた組織全体のスキル向上につなげる取組が求められる。今後は、管理体制強化の実効性の可視化および全職員のレベルアップにつながる体系的な研修の実施に取り組んでいただきたい。
管理運営業務	A	遊具や施設設備など、今年も破損が多かった。高額修繕になることも多く、市の担当者、企業と連絡を取りながら早期修繕に努めた。	B	維持管理業務及び運営業務については、遊具や施設設備の破損への対応など、多岐にわたる管理業務を概ね適切に実施できていた点は評価できる。特に、高額修繕が必要となる案件について、市担当者や関係企業と連携し、早期修繕に努めていた。 一方で、植栽管理については、前年度においても改善を求めていたにもかかわらず、業務基準に沿った履行が十分でない状況が見受けられた。今後の植栽管理について、仕様書の実施基準を十分に理解したうえで、利用者や連携団体からの改善要望が少なくなるよう適切な履行に努めていただきたい。
利用業務	A	近年広報に力を入れていることで、今年は全国のイベントを取り扱っている企業からもイベント掲載を打診されるなど、公園周知につながっている。夏の閑散期には、FC今治と連携しイベント集客を図ることで、新たな利用者層との出会いにつながった。	B	全国のイベントを取り扱う企業から掲載の打診があるなど、公園の認知度向上に、広報活動の成果がでている点は評価できる。さらに、夏の閑散期においてFC今治と連携したイベントを実施し、新たな利用者層の開拓につなげたことは、利用促進の観点からも意義深いといえる。 一方で、今後は少子化の進行により利用者数への影響が懸念されることから、引き続き積極的な広報活動とともに、多様な世代や新規利用者の誘致に向けた工夫・取組を一層充実させることを期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
その他業務	A	利用者への注意喚起や利用方法の案内など、利用者との対話や周知の積み重ねにより、大きな事件・事故なく運営ができており、利用者の安心感につながっている。	B	利用者への注意喚起や利用方法の案内等、日常的な対話及び周知の積み重ねにより、大きな事件・事故の発生なく運営がなされており、利用者の安心感の醸成に寄与している点も評価できる。 一方、他施設の事故対応事例の収集・反映、チェックリストやマニュアルの継続的な見直し、避難・防災訓練の充実、ならびに個人情報取扱いに関する研修については、改善の余地が見受けられる。 今後においても、引き続き適正な管理運営の確保に努めていただきたい。
修繕業務	A	巡回時のチェックを細やかに行うことで、破損箇所を速やかに発見している。修繕箇所は市に報告をしており、企業との3者での打ち合わせも実施した。	B	巡回時の点検を通じた不具合の早期発見や、市への報告、関係企業を含めた三者協議の実施など、修繕業務においては適切な対応が行われている。 一方で、発見された不具合への対応については、委託業者や市からの助言・指示を踏まえた確実な対応が求められる。 今後においても、利用者の安全確保を最優先とし、関係団体との十分な協議・検討を行った上で、優先順位を明確にした計画的な修繕を行っていただきたい。
備品管理業務	A	利用者にとって心地よい公園利用となるよう、熱中症対策や破損した整備備品の購入を実施し、適切に台帳にて管理をしている。	B	利用者にとって心地よい公園利用を実現するための備品購入は、目的に即した適切な対応であると評価できる。今後も、備品購入の最適な運用と適切な管理に努めていただきたい。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	自販機を設置していることで、利用者の利便性向上や熱中症対策にも寄与している。	A	自動販売機の設置により、利用者の利便性向上及び熱中症対策に寄与している点は評価できる。 また、目的外使用許可に係る業務についても適正に遂行されており、引き続き適正な業務の実施をお願いしたい。
自主事業	A	アースマルシェにて復元の森でのイベントを実施する等、現代の保護者ニーズに合わせた自主事業を実施することで多数の来場者につながった。公園のコンセプトのもと運営をしている効果が表れる結果となった。	B	公園設立の趣旨に沿い、多岐にわたる自主事業を展開しており、「アースマルシェ」については、各種団体と連携した継続的な取組として、公園の活性化に寄与している点を評価する。 一方で、継続実施している事業の中には、内容の見直しが求められるものも見受けられるため、ブラッシュアップを図るなど、新たな利用者層の開拓に努めていただきたい。 今後も引き続き、多様なニーズを踏まえた自主事業を積極的に展開し、更なる利用促進につなげることを期待したい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	A	岡山理科大学との連携により、イノシシ対策の一助として電気柵が設置された。花と緑と光の会による植樹も滞りなく終了。弊社パートナーグループの情報から地域ニーズをキャッチアップし、既存新規団体含め適切なやり取りができています。	B	岡山理科大学との連携による電気柵設置や、花と緑と光の会による植樹の実施など、地域団体との連携が概ね適切に行われているものとして評価できる。 また、パートナーグループからの情報収集を通じて地域ニーズの把握に努め、既存・新規団体双方と円滑な関係構築が図られている。 一方で、今後は植樹活動のさらなる展開や、継続的に管理を担う団体の掘り起こしなど、より積極的な連携の拡充を期待したい。
利用者アンケート	A	市外イベント出店時のアンケートでは、しまなみアースランドの認知度が低くなる傾向があり、SNSや出店含め市外への周知活動は来客数増加へつながることがわかった。市内外に広くアンケートを取ることで、新たな来客層に的確にアプローチをすることができた。	B	アンケートを通じて市外への周知活動の効果や新規来客層へのアプローチに一定の成果が確認できた点は評価できる。 一方で、設問内容の精査や分析の深度を高めることで、単なる把握にとどまらず、具体的な課題の抽出及び改善施策へ確実に結び付ける運用が求められる。今後は、目的に応じた適切な設問設定と結果分析を行い、より効果的な来客数増加策の立案・実施につなげていただきたい。
事故・苦情	A	公園利用以外の駐車や遊具故障についての問い合わせや意見が目立ったが、随時、市や対象施設、企業と対話を重ね、適切に解決した。	B	関係機関と連携し適切に対応した点は評価できる。一方で、日常の点検・清掃・巡回の徹底により、未然防止が図れる側面もあるため、事後対応に加え、予防的な取組にも一層注力されたい。
指定管理者の経営状態			適正である。	

総 合 コ メ ン ト（市）

本施設の管理運営については、施設の目的に基づく重要事項を整理し、スタッフ間での継続的な振り返りを通じて概ね適切に実施されている点が評価できる。維持管理や修繕対応においても、市や関係機関との連携のもと迅速な対応が図られ、安全確保に努めている点は高く評価される。また、広報活動や自主事業の展開により認知度向上や利用者層の拡大に一定の成果が見られるほか、人材採用や研修への取組も進められている。

一方で、植栽管理や草刈りにおける予算執行の乖離や業務基準の履行不足など、計画性と運用精度に課題が見受けられる。また、研修成果の非常勤職員を含めた組織全体への波及、既存事業の見直し・改善、予防的な維持管理の強化といった点も今後の重要課題である。これらを踏まえ、施設目的に即した自主事業の充実、人材育成の体系化、計画的な予算管理と維持管理の徹底を図り、より質の高い施設運営と価値向上につなげていくことが期待される。